

提案大学	新潟大学
連携大学	—

EPOCH

先端研究基盤刷新事業



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

プロジェクト概要：新潟大学は何を行い、何を変えるか

研究設備・技術職員・研究データ・財源を
全学で一体運用し、関東・甲信越・東北と連携して
全国に開かれた研究基盤へ転換

現状の課題

設備の個別所有・
重複導入

部局分散・更新
判断の難しさ

技術の属人化

データの分散管理

補助金依存・
再投資不足

共用設備 93/489機種、
共用化率19%、学外利用60件/年

全学・部局横断で行うこと

- 研究基盤経営の司令塔を置く
ARK (研究基盤統括本部)
予算・人材配置・共用移管・KPIで戦略判断
- 買う前に確認し、共用利用へ転換する
FS制度
重複購入を防ぎ、設備IRから利用へ誘導
- 相談から品質保証付きデータ取得まで伴走する
D-GO
測定設計・データ取得・品質確認・レポート作成
- 学外利用のワンストップ窓口を整える
OFaRS II
設備検索・相談・申請・課金請求
- 技術職員を全学的に組織化し育成する
総合技術部・CORE-Tech
配置最適化・キャリア設計・人材育成
- ELN/RDM・セキュア解析・設備IR**
データを標準化し、設備IRで更新・再投資を判断する

どう変わるか

- 個別所有の設備 → 全学で使える
共用設備へ
- 単なる設備利用 → 相談・測定設計・
品質保証付き
データ納品へ
- 研究室データ → 再利用可能な
高品質データ
資産へ
- 単年度・
補助金依存 → 複合財源による
持続運営へ
- 学内中心利用 → 若手を含む
全国・海外の
研究者・企業へ

到達目標

	申請時点	R10	R17
	共用設備 93/489機種	共用設備 200機種	共用設備 390機種
	共用化率 19%	共用化率 40%	共用化率 約80%
	学外利用 60件/年	学外利用 200件/年	学外利用 600件/年
	学外利用料収入 約652万円/年	学外利用料収入 2,000万円/年	複合財源 1.5億円/年
	海外利用累計 —	—	50件

新潟大学だから実装できる基盤

- 脳研究所とブレインバンク
(剖検脳 約3,400例/凍結脳組織 3万点超)
- 食と健康研究基盤(米・発酵・日本酒学)
- J-PEAKS, FLAG'sと連携した全学的・部局
横断的なコアファシリリティ化
- 新潟研究基盤ネットワーク+
関東・甲信越・東北の参画機関との広域連携

背景・連動する
学内の基盤施策
(EPOCHの土台)



J-PEAKS (研究強化・先行実証)
「脳といのち」「食と健康」で先行実証
⇒ 確立した設備・データ・支援モデルを
全学・他分野へ展開



FLAGs (人材育成)
大学院生・若手研究者育成、
研究基盤を使いこなす人材育成
⇒ 基盤の高度利用を担う専門人材の
継続的な輩出とキャリア形成を支援



契約学科を含む産学連携基盤
社会実装、企業連携、共同研究・人材交流
⇒ 社会課題の解決と経済価値の創出、
実践の場とネットワークを拡大

EPOCHは、研究設備を「所有するもの」から「**全学で共有し、地域と連携して全国に開く研究基盤**」に転換するプロジェクトです。
J-PEAKS(先行実証)、**FLAGs**(人材育成)、**契約学科を含む産学連携基盤**(社会実装)が土台となり、全国の研究基盤の一翼を担います。